

平成26年度第2回防犯まちづくり推進協議会会議概要

1 開催日時

平成27年3月19日（木）午後2時30分～3時30分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所 議会棟3階 執行部控室

3 出席者

（委員）

角田委員、堀委員、伊藤委員、伊能委員、岩館委員、今津委員、小川委員、泉委員、岩野委員、折戸委員、近委員、長谷氏（岡田委員代理）、佐々木委員、蘭委員、小泉委員、大木委員、

（事務局）6名

大木市民生活部長、小島交通防犯課長、鈴木交通防犯課副参事、松崎交通防犯課係長、栗原交通防犯課主査、津田交通防犯課主事

4 委嘱状交付

任期途中で委員となった近委員と岡田委員に対し、市民生活部長より委嘱状を交付した。

5 議題

- (1) 平成27年度 犯罪抑止重点地区の指定について
- (2) 平成27年度 防犯まちづくり推進協議会表彰について
- (3) 防犯まちづくり推進協議会表彰候補者選考基準の改正について
- (4) その他

6 議事（要旨）

議題（1）

平成26年刑法犯犯罪認知件数に基づき、街頭犯罪が集中して発生している「成田駅周辺」・「公津の杜駅周辺」・「ウイング土屋」を今年度に引き続き、犯罪抑止重点地区として指定することを提案した。主な質問・意見等は次のとおり

委員：今までに設置した防犯カメラの効果は？

事務局：防犯カメラの効果は数字的なもので検証のしようがないが、最近よくテレビで防犯カメラの映像によって犯人逮捕につながったとの報道がされ、それらを目にすることによって抑止効果があるのではないかと考える。

委員：防犯パトロール隊として成田駅周辺とウイング土屋をパトロールしてい

るが、防犯カメラがついていると気持ち的にちゃんとしないといけないと思うため抑止になるなどと色々な話を聞く。効果は数字的にどうかきちんと表れにくいと思うが、非常に意識が高まり抑止になるだろうと思う。

審議の結果、当該指定地区については、防犯まちづくりに関する施策を重点的に実施していくことを確認し、全会一致で承認された。

議題（２）

防犯まちづくり推進計画の施策である地域防犯推進員活動に参加し、過去の参加履歴をもとに顕著な功績のあった１１名について、事務局から表彰候補者として提案し、全会一致で承認された。

議題（３）

防犯まちづくり推進協議会表彰候補者選考基準について、現行のものに「各地域で自主的に防犯活動にご尽力いただいている方々および団体」を追加することを提案した。主な質問・意見等は次のとおり

委員：案にある「８年以上継続し、４００回以上の活動実績」のある団体は何団体あるのか？

事務局：今年度調査した時点で対象となる団体は８団体。

委員：選考基準改正案（団体）但し書きの「過去に当協議会の表彰を受けた団体は除くものとする。」とあるが、一度表彰を受けた団体が再び表彰を受けることが可能とするようにしてほしい。

事務局：表彰を受けた後、さらに同様の活動実績があった場合には、表彰候補者となるような形で、基準の文言を事務局で再検討し、後日各委員に報告する。

文言の一部訂正はあるが、表彰候補者選考基準の改正の趣旨については、全会一致で承認された。（別紙参照）

議題（４）

「その他」としては、次のような質問・意見等がだされた。

委員：市内各地で活動している自主防犯活動団体の活動状況調査の結果から多くの団体や個人の方が各地域で活動してくれていることを知り、防犯意識が高く素晴らしく、頭が下がる思い。今後市が行っているパトロール活動とともに継続して行ってほしい。

委員：各区・自治会等の少人数の会合等で、成田警察署生活安全課から講師を派遣してもらい「防犯講話」を積極的に行ってはどうか。

委員：（成田警察署生活安全課長）振り込め詐欺の手口などはどんどん新しいものになっており、いち早く皆さんに伝えられれば抑止活動ができると思う。情報発信して多くの方にそれらを知っていただければと思うので、

そのような集まりに声をかけていただければ講師を派遣するので、是非
お願いしたい。

事務局：区長会総会などで防犯講話の活用について依頼する。

7 傍聴

(1) 傍聴者 0人

8 次回開催日時（予定）

平成27年10月開催予定